



百里飛行場新交流拠点整備基本計画

百里飛行場前 (案)

令和5年9月

1. 百里飛行場前の概要

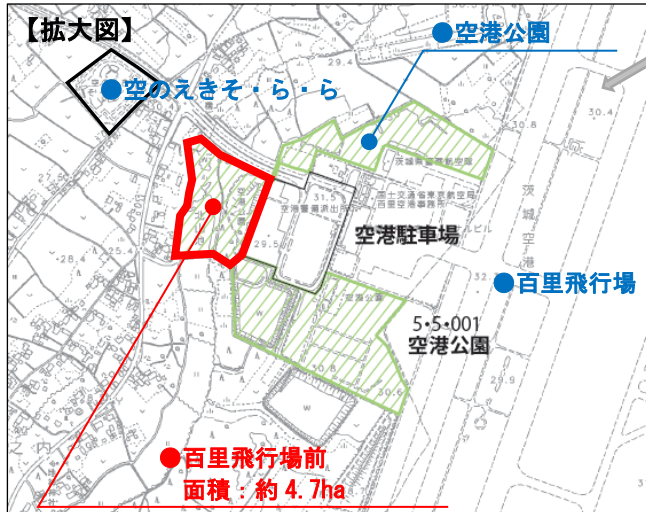
1. 百里飛行場前の概要

(1) 概況

計画地は、本市東側に存する航空自衛隊百里基地と茨城空港の共用飛行場“百里飛行場”の西側に位置しており、面積は約4.7haです。

また、都市計画で定める“5・5・001 空港公園”の区域に含まれており、土地は県有地となっています。

なお、百里飛行場の制限区域内に位置していることから、航空法による制限を受けます。



■ 空港公園の都市計画の概要

- ・ 種別：総合公園
- ・ 管理：茨城県営都市公園
- ・ 開設日：平成22年3月11日
- ・ 計画面積：16.3ha（変更後の予定面積）

計画地は、百里飛行場と空のえき「そ・ら・ら」の間に位置し、北側には一般県道茨城空港線、西側には集落を挟み、一般県道大和田羽田線が通っており、東側は空港駐車場、南側は農地に接しています。

土地利用状況は、自然豊かな北山池を含み、台地部は公園として、空からも分かるシンボリックな築山や周辺を回遊する散策路、池のほとりの四阿などが整備されています。



(2) 法規制の状況

①都市公園法

計画地は、都市計画で定める“5・5・001 空港公園”の区域内となっており、下記に示すとおり、都市公園法に係る制限を受けることになります。

ア. 建ぺい率の制限

都市公園は、公共オープンスペース機能確保のため、都市公園法により公園施設の建ぺい率が定められており、公園施設の建ぺい率（建築面積の敷地面積に対する割合）は2%を参酌して地方公共団体が定める割合を超えてはならないとされています。

ただし、政令で定める特別な場合については、政令で定める範囲を参酌して地方公共団体の条例で定める範囲内でこれを超えることができますが、県・市ともに国基準と同様です。

なお、小美玉市は「小美玉市都市公園条例（H18.3.27）」により公園施設の建ぺい率を定めています。公募対象公園施設の建ぺい率については、市条例では定められていません。

■公園施設の建ぺい率の整理

施設の種別	建蔽率			根拠法令等	地方自治体で個別に上乘せ可能（参酌基準）		
	法	県条例	市条例				
一般施設 園路、広場、修景、遊戯、便益、管理施設等	2%	2%	2%	法第4条第1項 県条例第2条の2 市条例第7条の2第1項	+ 2%		
特別な施設	① 休養、運動、教養、備蓄倉庫、災害応急対策に必要な施設等	+ 10%	+ 10%	+ 10%	施行令第6条第1項第1号 県条例第2条の3第1号 市条例第7条の2第2項	+ 10%	
	② 休養施設又は教養施設のうち、国宝や重要文化財等	+ 20%	+ 20%	+ 20%	施行令第6条第1項第2号 県条例第2条の3第2号 市条例第7条の2第3項 ※①と重複適用は不可	+ 20%	
	③ 高い開放性を有する建築物	+ 10%	+ 10%	+ 10%	施行令第6条第1項第3号 県条例第2条の3第3号 市条例第7条の2第4項	+ 10%	+ 10%
	④ 仮設公園施設	+ 2%	+ 2%	+ 2%	施行令第6条第1項第4号 県条例第2条の3第4号 市条例第7条の2第5項 ※①～③に含まれる施設を除く	+ 10%	
	⑤ 公募対象公園施設	+ 10%	+ 10%	-	施行令第6条第6項 県条例第2条の3第5号 市条例なし ※①～②の上乗せではない	+ 2%	
					一般施設（園路・広場・修景・遊戯・便益・管理施設等）		

※個別上乘せの事例

兵庫県西宮市（中央運動公園限定）一般施設 2%→5% 特例施設 10%→15% 民間施設導入等
神奈川県横浜市（横浜公園限定）一般施設 2%→7% 特例施設 10%→31% スタジアム改築等

■空港公園の公園施設の建築可能面積

空港公園の公園施設の建築可能面積は、公園計画面積が16.3ha（変更後の予定面積）のため、一般施設の場合（2%）で約3,260㎡となります。

※特例施設及び公募対象公園施設により建ぺい率の上乗せあり。

イ. 容積率の制限

容積率については、県が定める「用途地域指定の無い区域内の形態規制」により、200%が適用されます。

ウ. 公園施設に関する制限

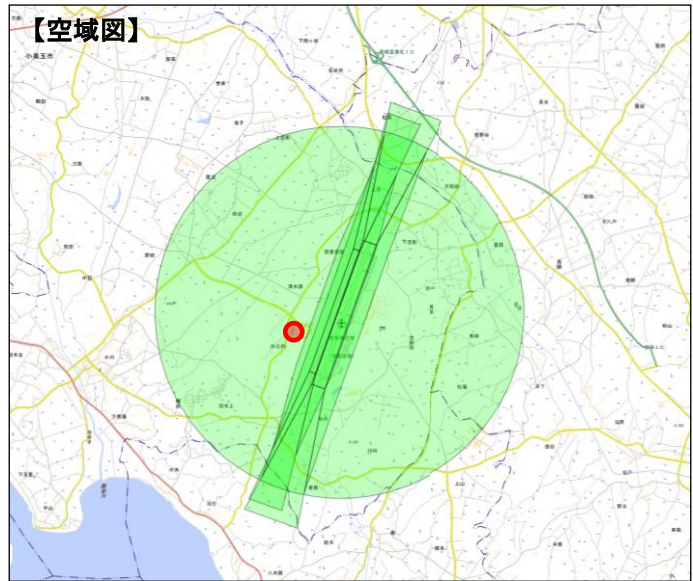
都市公園施行令において、都市公園に宿泊施設を設ける場合においては、当該都市公園の効用を全うするため特に必要があると認められる場合のほかこれを設けてはならないとされています。

②航空法による制限

百里飛行場の制限区域（水平表面）に位置していることから、航空法による制限を受けます。

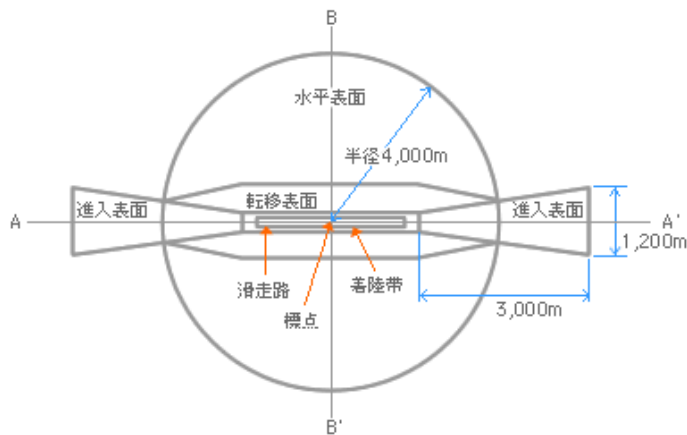
※水平表面

空港の標点の垂直上方45mの点を含む水平面のうち、この点を中心として半径4,000mで描いた円周で囲まれた部分（航空法第2条第9項）



出典：地理院地図「空港等の周辺の空域」

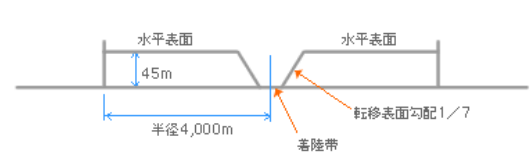
【制限表面の平面概略図】



【制限表面の断面概略図 A-A'】



【制限表面の断面概略図 B-B'】



出典：国土交通省東京航空局HP



2. 百里飛行場前の役割と施設整備の方針

1. 新まちづくり構想（策定中）の基本理念と基本方針

●基本理念

—空に親しみ、空を身近に感じるまちづくり—

●基本方針：

1. 百里基地や茨城空港を生かした交流を創出します。
2. 茨城空港とJR羽鳥駅の拠点化と連携、国道6号バイパス等を契機として、東西域のまちづくりの一体性を創出します。
3. 人々の暮らしや活動の場である、市街地や公共施設のアップデートを進めます。

2. 新まちづくり構想（策定中）で定める百里飛行場前の位置づけや取り組み

現状と課題	茨城空港と空のえき「そ・ら・ら」の間に位置し、北山池といった自然要素もあることから、空港と「そ・ら・ら」の連携を創出するとともに、空港機能を補完する機能導入が求められます。
基本方針	茨城空港や百里基地という地域固有の資源をまちづくりに活用するため、基地との共生に向けた課題を解決しつつ、自衛隊との交流、防災・基地機能の維持、未来の移動や公共交通機能の充実を図ります。
位置づけ	<input type="checkbox"/> 「空」への理解と多様な交流の動機づけの拠点
取り組み	<input type="checkbox"/> 地域住民、航空ファン等の交流促進に有効な機能の導入 <input type="checkbox"/> 自衛隊を知り楽しむ場づくり <input type="checkbox"/> 百里基地の理解を深め交流を促す場づくり <input type="checkbox"/> 日本の航空・防衛産業の現在と未来を考える場づくり <input type="checkbox"/> 近未来の交通を知り体験する場づくり （茨城空港と空のえき「そ・ら・ら」との移動の確保） <input type="checkbox"/> 市民・来訪者の憩い・交流・宿泊の場づくり <input type="checkbox"/> 防災の拠点づくり <input type="checkbox"/> 公共交通の拠点となる場づくり <input type="checkbox"/> 北山池のエコトープ整備

3. 小美玉市新まちづくり構想策定等委員会（分科会）の意見

小美玉市新まちづくり構想等の策定のために設置された“小美玉市新まちづくり構想等策定委員会”において、小川地区分科会を2回（令和5年7月7日、令和5年8月4日）開催し、百里飛行場前の資源や現状を共有した上で、百里飛行場前が担うべき機能や役割、そして、その実現のために必要な具体的な機能やアイデア、規模などについて、委員の皆様からご意見を伺いました。

■分科会の意見の整理

○役割	
<input type="checkbox"/> みんなが知り合える場 <input type="checkbox"/> 多様な交流の場	
○機能（目安となる規模）	○具体的な機能、使いやすくするためのアイデア等
<input type="checkbox"/> 健康づくりを支援する機能 （約 1,600 m ² ）	<input type="checkbox"/> アリーナ施設 <input type="checkbox"/> スポーツができる <input type="checkbox"/> 屋内型スポーツジム（500 m ² ） <input type="checkbox"/> 遊び場（屋内） <input type="checkbox"/> 遊び場（屋外） <input type="checkbox"/> 仮眠できるスペース <input type="checkbox"/> ウォーキング <input type="checkbox"/> 温泉
<input type="checkbox"/> 自衛隊との交流を支援する機能	<input type="checkbox"/> 各種の式典等ができる <input type="checkbox"/> 来訪者をおもてなしする <input type="checkbox"/> 自衛隊と交流する <input type="checkbox"/> 自衛隊をPRする <input type="checkbox"/> 自衛隊を学ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 百里の歴史を学ぶ <input type="checkbox"/> 騒音との交流（音響シミュレーションの可聴化技術による音の体験） <input type="checkbox"/> 0Bの人にパイロットになってもらう <input type="checkbox"/> 百里バルーンクラブ（熱気球 200 m ² ）
<input type="checkbox"/> 観光交流を支援する機能	<input type="checkbox"/> 飛行機や技術に触れる <input type="checkbox"/> 戦闘機を見学できる <input type="checkbox"/> 米軍との交流（日常的な食事や文化に触れる） <input type="checkbox"/> 市の特産品を売っている <input type="checkbox"/> 防災訓練
<input type="checkbox"/> 魅力を発信する機能	<input type="checkbox"/> 会議ができる <input type="checkbox"/> 北山池を利用する <input type="checkbox"/> 車の展示場（旧車） <input type="checkbox"/> テントドームがあると雨天時のイベントが行える <input type="checkbox"/> レセプション会場・イベントやセレモニー会場として多目的ホールを設置 <input type="checkbox"/> 日本の武道や太鼓の団体が披露できるような板の間があると良い（海外の方向け）
<input type="checkbox"/> 安全・安心を提供する機能	<input type="checkbox"/> 避難所になる <input type="checkbox"/> 災害備蓄がある <input type="checkbox"/> 水や電気が確保されている <input type="checkbox"/> 体験学習 <input type="checkbox"/> 平日の集客（例：消防の体験が出来る（キッズニアのような楽しい体験）） <input type="checkbox"/> 施設のスムーズな出入口
<input type="checkbox"/> 宿泊できる機能	-

4. 施設整備の方針

(1) 施設整備の方針

百里飛行場前は、百里飛行場と空のえき「そ・ら・ら」を繋ぎ・連携し、そして補完するとともに「市民や都市住民の憩いの場」と位置づけられた空港公園の役割を担うことが期待されています。

また、小美玉市新まちづくり構想等策定委員会の小川地区分科会においては、百里飛行場前の担うべき役割として“みんなが知り合える場”・“多様な交流の場”との意見を頂きました。

これらを受け、施設整備の方針については、スポーツやイベントなど、様々な市民の活動や交流を支援するとともに、空港利用者、基地利用者、自衛隊員など、多様な人々を迎え入れ、知り合い、交流し、憩う施設として計画します。

(2) コンセプト

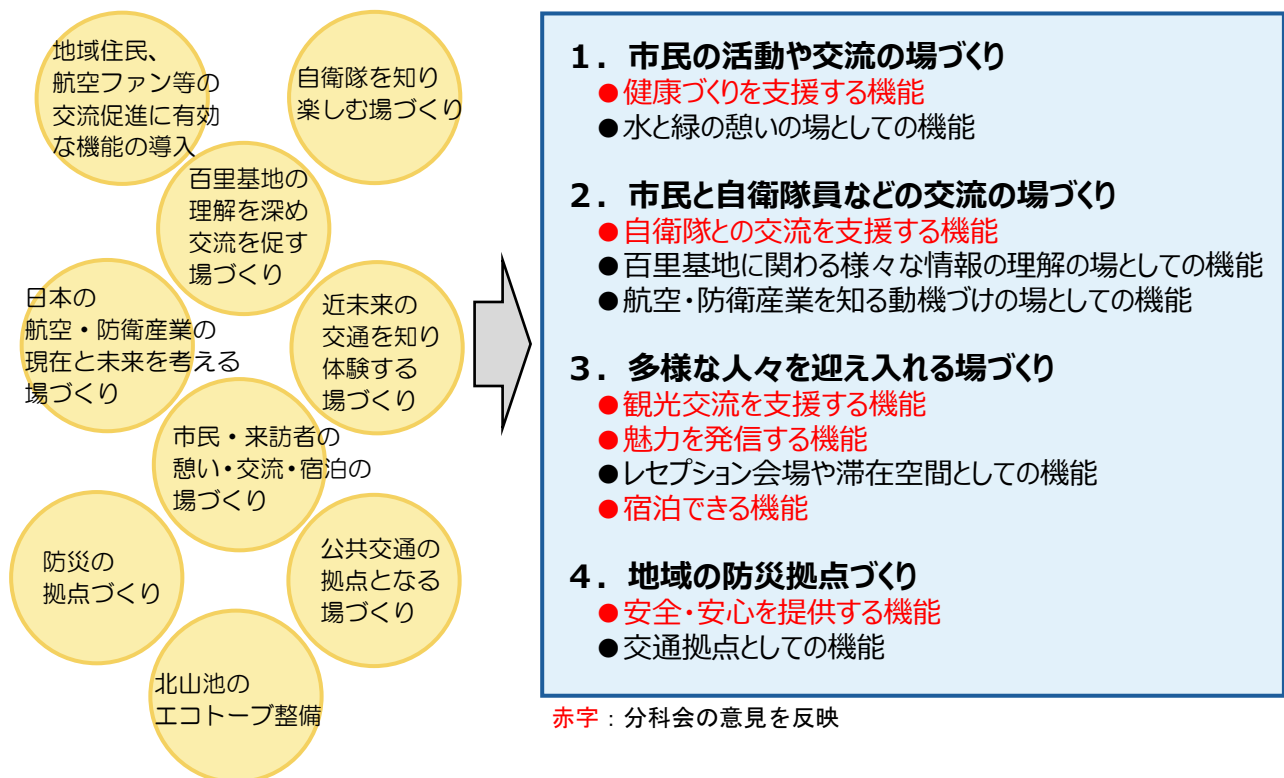
多様な人々を迎え入れ、知り合い、交流し、憩う
～百里ウエルカム・アリーナ～

(3) 施設の機能

施設の機能は、新まちづくり構想の基本方針に分科会からの意見を加味し、下記の4つを機能の柱として計画します。

新まちづくり構想

施設の機能



(4) 施設の機能イメージ

施設の機能イメージについては、下記のとおりです。

1. 市民の活動や交流の場づくり

健康づくりのスポーツ利用や市民イベントなどに利用できる多目的イベントスペース、野外活動に利用できる広場スペース、北山池を眺め憩う休憩スペース、北山池の豊かな自然を保全した環境保全スペースなどを計画することで、多様で幅広い世代の人々が、様々な活動を通じて、交流し、憩う施設とします。

○多目的イベントスペース ○トレーニングスペース ○広場スペース（屋外）
○環境保全エリア（屋外） ○休憩スペース（屋外）

2. 市民と自衛隊員などの交流の場づくり

展示・体験スペースにおいて、自衛隊の活動や百里基地の歴史、航空・防衛産業などについて知り・体験してもらうとともに、多目的イベントスペースや屋外でのイベントなどを計画することで、市民と自衛隊員などの交流を促進する施設とします。

○多目的イベントスペース ○展示・体験スペース ○カフェ・文化交流スペース
○広場スペース（屋外）

3. 多様な人々を迎え入れる場づくり

空の玄関口である飛行場前において、飛行場がある“まち”として、様々な情報を発信するとともに、多様な人々を暖かく迎え入れるレセプション機能や滞在機能を有する空間を計画することで、人と知り合い、新たな交流が生まれる施設とします。また、体験型施設としての機能強化を計画している空のえき「そ・ら・ら」と連携し、多くの人々を迎えることで、地域の活性化を促す施設とします。

○多目的イベントスペース ○展示・体験スペース ○カフェ・文化交流スペース
○広場スペース（屋外） ○滞在（宿泊）スペース

4. 地域の防災拠点づくり

多くの人を収容できる多目的イベントスペースを避難所として開放し、災害に備えた災害備蓄スペースを計画することで、災害時に頼れる地域の防災拠点となる施設とします。

また、屋外の広場スペースや環境保全スペース、駐車場についても、倒壊物が少ない安全・安心な空間とすることで、屋外避難場所として活用できる施設とします。

なお、実際に触ることのできる防災シェルターを展示・体験スペースの一角に設置するなど、防災意識の向上につながる取り組みについて検討します。

○多目的イベントスペース ○展示・体験スペース ○災害備蓄スペース
○広場スペース（屋外） ○駐車場（屋外）

3. 施設構成の検討

1. 必要な施設と規模

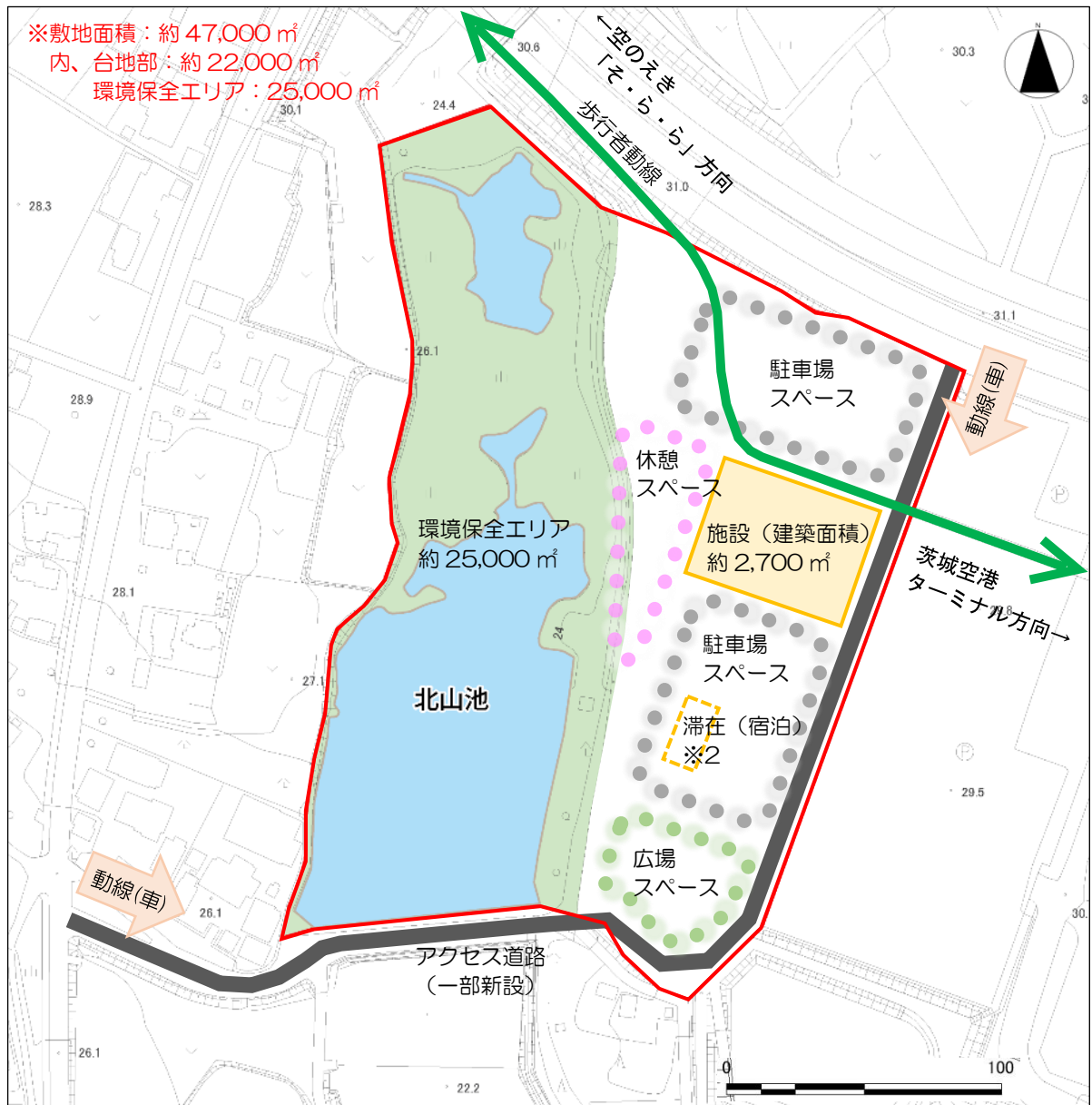
(1) 施設と規模の一覧

機能の柱	機能	必要な施設	想定規模
市民の活動や交流の場づくり	健康づくりを支援する機能	・多目的イベントスペース ・トレーニングスペース ・広場スペース（屋外）	・多目的イベントスペース※1 →約 1,500㎡ ・トレーニングスペース →約 100㎡
	水と緑の憩いの場としての機能	・環境保全エリア（屋外） ・休憩スペース（屋外）	・展示・体験スペース※2 →約 280㎡
市民と自衛隊員などの交流の場づくり	自衛隊との交流を支援する機能	・多目的イベントスペース ・広場スペース（屋外）	・カフェ・文化交流スペース※3 →約 100㎡ ・災害備蓄スペース →約 120㎡
	百里基地に関わる様々な情報の理解の場としての機能	・展示・体験スペース ・カフェ・文化交流スペース	・共用、その他※4 エントランス、事務所、 トイレ、控室、更衣室、 機械室、機材倉庫、廊下、 階段、エレベーター など
	航空・防衛産業を知る動機づけの場としての機能	・展示・体験スペース	→約 1,100㎡ →約 3,200㎡（延床）
多様な人々を迎え入れる場づくり	観光交流を支援する機能	・展示・体験スペース	【屋外】 ・広場スペース ・環境保全エリア※5 ・休憩スペース
	魅力を発信する機能	・カフェ・文化交流スペース	
地域の防災拠点づくり	レセプション会場や滞在空間としての機能 宿泊できる機能	・多目的イベントスペース ・広場スペース（屋外） ・滞在（宿泊）スペース	・滞在（宿泊）スペース※6 ・駐車場 など
	安全・安心を提供する機能 交通拠点としての機能	・多目的イベントスペース ・展示・体験スペース ・災害備蓄スペース ・広場スペース（屋外） ・駐車場（屋外）	

- ※1 多目的イベントスペースについては、スポーツやイベントに利用するほか、レセプション会場としての利用を計画します。
なお、規模については、スポーツ利用を想定していることから、体育館の規模設定の考え方により、バスケットボールコート2面が設置できる規模（34m×42m=1,428㎡ 高さはバレーボールコートを基準に12.5m以上）で計画します。
- ※2 展示・体験スペースについては、自衛隊の活動や百里基地の歴史などに関する展示スペース、航空シミュレーターや音響VRなどの体験スペースとして計画します。
- ※3 カフェ・文化交流スペースについては、レセプション開催時などの飲食提供も行うスペースとして計画します。
- ※4 共用、その他は、一般的に必要とされるエントランスやトイレ、廊下、階段、エレベーターのほか、多目的イベントスペースに関連した、事務所や控室、更衣室、機械室、備品倉庫等のバックヤード的な機能が必要になりますが、内容や規模は今後の詳細検討により変動します。
- ※5 豊かな自然が残る北山池周辺は、環境保全エリア（水と緑の憩いの空間）として計画します。
- ※6 滞在（宿泊）スペースについては、イベント開催時や茨城空港利用者などの需要が想定されますが、現計画においては民間活力を利用した将来的な計画として検討します。

(2) 敷地配置ゾーニング

配置方針に基づき、敷地配置ゾーニングを下記のとおり計画します。



※1 敷地に配置する機能を示した図であり、形状や規模などを確定するものではありません。

※2 「滞在 (宿泊)」については、今後の調査の中で、設置箇所等を含め検討します。

3. 施設計画

(1) 配置方針

施設計画について、各機能の利用目的に応じ、配置方針を定め計画します。

①施設規模

- 施設規模は、2階建て（1階約2,700㎡、2階約500㎡）延床面積が約3,200㎡（容積率：1.96%）の施設として計画します。

②1階の施設構成

- 1階は、多目的イベントスペースをメインとして、トレーニングスペース、展示・体験スペース、災害備蓄スペースを計画します。
- 多目的イベントスペースは、スポーツやイベント、レセプション会場としての利用を想定するほか、災害時の避難所としての活用を検討します。
- 展示・体験スペースは、自衛隊の活動や百里基地の歴史などに関する展示スペース、航空シミュレーターや音響VRなどの体験スペースとし、多くの人に関心を持ってもらうため、1階入り口付近に計画します。

③2階の施設構成

- 2階は、カフェ・文化交流スペースを計画します。
- カフェ・文化交流スペースは、レセプション開催時などの飲食提供も行うスペースとして計画します。
- 1階イベントの観戦や飛行機の離発着見学などに利用できる、回廊的な通路を検討します。

④共用、その他

- 一般的に必要とされるエントランスやトイレ、廊下、階段、エレベーターのほか、多目的イベントスペースに関連した、事務所や控室、更衣室、機械室、備品倉庫等のバックヤード的な機能が必要になりますが、内容や規模は今後の詳細検討により変動します。

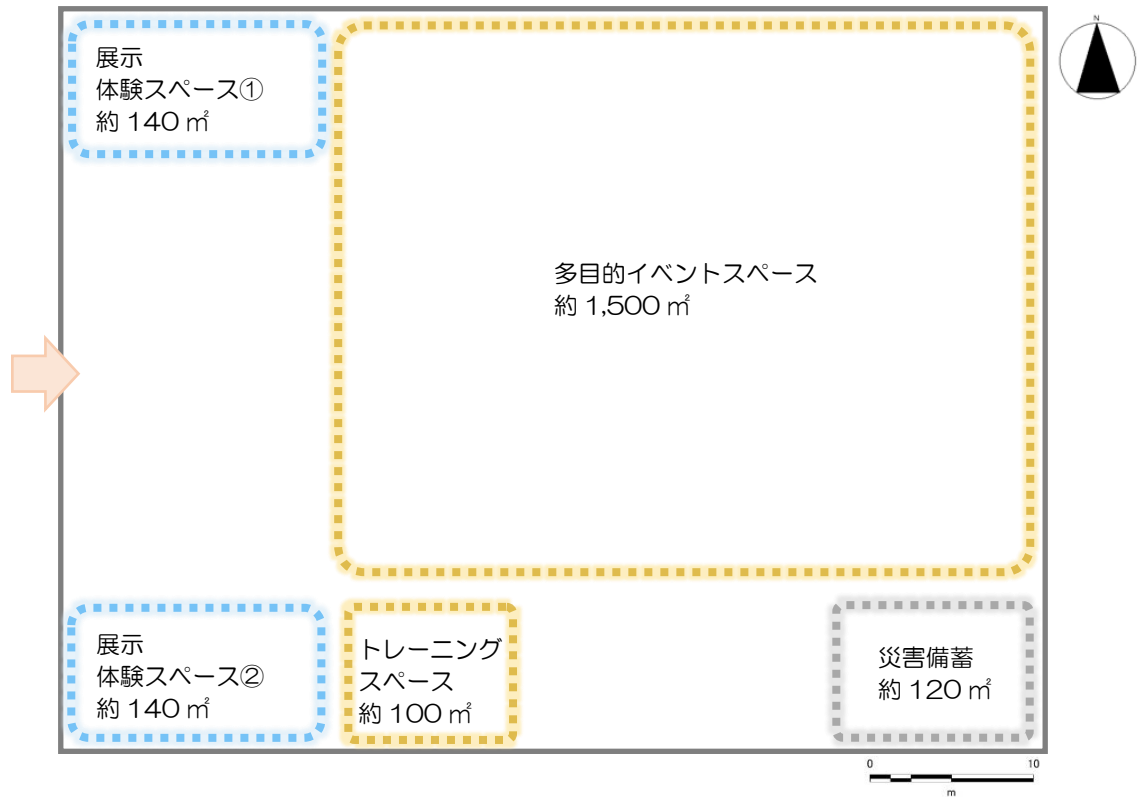
■施設構成表

階数	施設構成	面積（㎡）	備考
1階	多目的イベントスペース	1,500	
	トレーニングスペース	100	
	展示・体験スペース	280	各種展示、シミュレーター等
	災害備蓄スペース	120	
	共用、その他	700	
	1階面積	2,700	
2階	カフェ・文化交流スペース	100	
	共用、その他	400	
	2階面積	500	
延床面積		3,200	

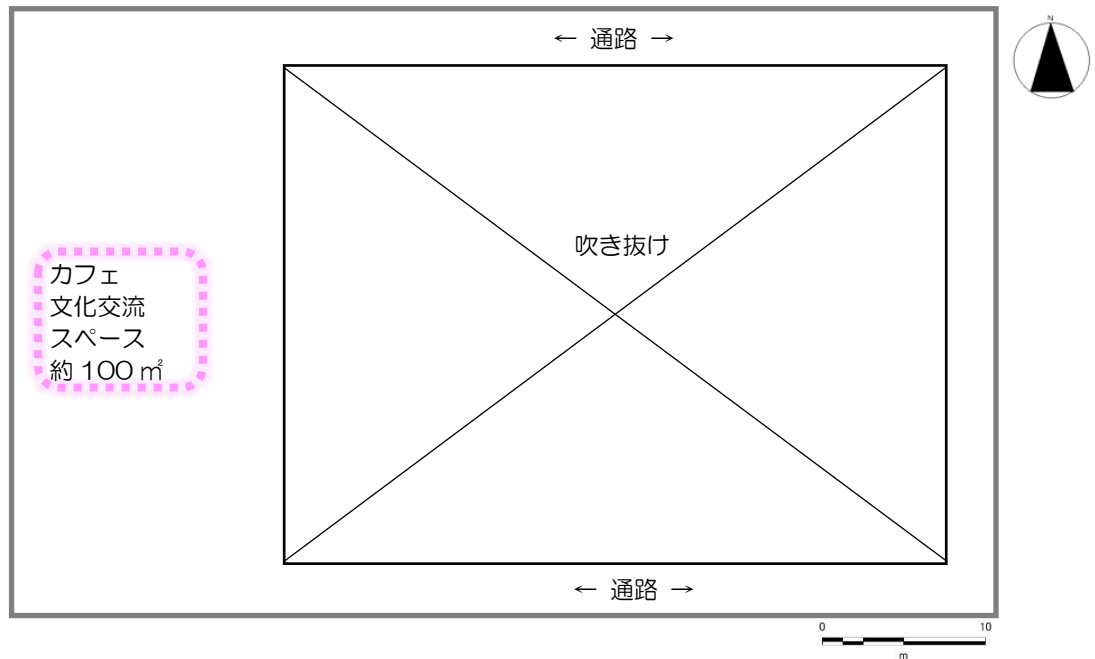
(2) 施設配置ゾーニング

配置方針に基づき、施設配置ゾーニングを下記のとおり計画します。

■ 1階配置ゾーニング (60m × 45m)



■ 2階配置ゾーニング (60m × 38m)



※各階に配置する機能を示した図であり、形状や規模などを確定するものではありません。

1階には、多目的イベントスペースに関連した、事務所や控室、更衣室、機械室、備品倉庫等のバックヤード的な機能を計画します。

各階には共用、その他スペースとして、エントランス、廊下、階段、トイレ、倉庫、エレベーター等を適宜配置します。